

令和7年度 第2回釜石市立栗橋公民館運営審議会議事録

1. 日 時 令和8年2月25日(水) 13時30分～15時
2. 場 所 橋野ふれあいセンター会議室
3. 出席委員 7名(全委員出席)
川崎悦三郎委員、八幡和郎委員、遠藤朱実委員、
小笠原春美委員、川崎通委員、高橋昭英委員、八幡裕子委員
4. 事務局等 まちづくり課 浦城主査
栗橋公民館 二本松公民館長、三浦主査
5. 傍聴者 なし
6. 結 果
 - ・審議会委員の任期満了に伴い、再任に係る辞令交付行った。
 - ・二本松館長が開会を宣言した後、課長欠席のため課長に代わり浦城主査が挨拶を行った。
 - ・委員長、副委員長の互選について、事務局案として委員長に川崎悦三郎委員、副委員長に八幡和郎委員を提案し、承認された。
 - ・川崎委員長挨拶の後、議長となり審議会を進行、事務局から令和7年度釜石市立栗橋公民館運営経過、及び令和8年度釜石市立栗橋公民館運営計画案について説明を行い、質疑応答の後、事務局提案のとおり承認された。

【主な発言等】

(個人名は載せずに「委員」等と表記する。)

※令和7年度釜石市立栗橋公民館運営経過

[議長]

- ・質問、意見を伺う。

[委員]

- ・まずは訂正をお願いする。餅つき大会は、栗橋地区基幹集落センターではなく、栗林小学校で実施した。
- ・AEDに関して、小学校には2台あるが1台はバッテリーがダメ、パッドがダメ。市からのいただきものだが、(予算の関係上)アフターができていない。
- ・命に関わること。外部団体にも貸し出ししているが、放課後、子供達がグラウンドで遊んでいる。何かあった時の対応に困る。外付けのAEDを設置できないか。
- ・PTAの会議で消防の方から聞いたが、救急車が到着するまでに20分かかる。
- ・前向きに検討していただきたい。

[館長]

- ・外付けの AED について、教育委員会在籍時に検討した経緯がある。外付けのものは頑丈で高額であった。
- ・委員の意見を教育委員会に伝えておく。

[委員]

- ・遊んでいる子供達だけではなく、散歩している方もいる。何かあったら、と考える（栗林小学校での）1年であった。
- ・他の予算をカットしてでも命を守る事にまわしてほしい気持ち。地域のコミュニティの中心が栗林小学校なので、必要を感じる。

[館長]

- ・生活応援センターが休みの時とか鍵が締まっていて、住民が使えない。そのような話はセンター内でもしていた。

[議長]

- ・地域会議では話題となっていないのか。学校というよりも、地域で考えていくことが必要かと思う。

[館長]

- ・地域会議では今のところは話しが出ていない。

[委員]

- ・以前、災害訓練があり、AED の話が合った。土日どうするのか。救急車も時間がかかる。何かあった時、ガラスを割ったらという話も出た。
- ・あらためて意識させられた。

[館長]

- ・AED の操作研修をしても、器機がないと使えない。しかし、かなり高額。

[議長]

- ・学校とか、センターの近くだとまだいいが、離れている方は大変だ。
- ・もう少し設置数を増やしてほしいと思うが、予算もかかる。

[各委員]

- ・緊急時はガラスを割って入る、という場合も想定される。

[館長]

- ・以前は屯所にもあったと聞く。
- ・AED を学校の外に設置するという事は、栗林小学校だけの話ではなく、学校全体の課題だと考える。教育委員会に話しておく。

[各委員]

- ・AED の操作講習会に参加したが、1 回では忘れる。

[館長]

- ・公民館事業として、毎年操作講習会を実施することとして計画している。

[委員]

- ・万が一のための AED だが、その万が一に使用できないと困る。

[議長]

- ・次に進む。2. 学齢期を中心とした事業について質問、意見はないか。

[委員]

・和山の事業（どんぐり苗の植樹）は熊対策もあるが、新しい学校に統合になっても、こういった（自然と触れ合う）活動は鶴住居の子供たちにも経験してもらいたい。

- ・水生生物調査も自然に接する事業として大切であり実施していきたい。
- ・野菜栽培について、今年度実施しなかったが、畑を令和 7 年度でお返しする予定であり、来年度以降も実施が難しい。

・栗橋公民館で連携事業を検討している場合は、早めに連絡いただき打ち合わせをしていきたい。

・今年は、職員室の前（外）で大豆を栽培し、豆腐を作った。地域の方も来てくれて美味しい豆腐ができ、子供たちもすごくいい顔をしていた。

[議長]

- ・各種事業について熊被害など何かあった場合のため保険に入っているのか。

[館長]

- ・ボランティア保険に加入することとしている。
- ・山岳会にも協力をいただいているが、毎回お願いすることも出来ない。
- ・片羽山は県外からも登山客が来ている。

[議長]

- ・片羽山登山（公民館事業）は、登山道の整備にもなっている。
- ・(3. 成人期を中心とした事業について) DVD の鑑賞は著作権とかもあり、借用に限度があるのでは。

[館長]

・図書館から DVD を借りているが、数に限りがあり、（地域住民が興味を持つ）DVD の選定が難しい上、畑仕事もしているため、時期を冬場に行っているが、中々人が集まらない。

- ・無理に開催してもということで、今年度は開催しなかった。

[議長]

- ・復興センターの事業（夏の終わり「ふれあいコンサート」）の関係はどうか。

[館長]

・以前は栗橋地区のみで 2 回来ていただいていたが、令和 7 年度は鶴住居地区と栗橋地区で各 1 回ずつと、回数が少なくなった。令和 8 年度は予算の関係で継続が難しい、という話がある。

[議長]

・健康クッキングは希望がなかったのか。

[館長]

・食改（食生活改善推進員）さんに教えてほしいとお願いしたが、予定を取るの
がなかなか難しい状況。また、地域の方々に声をかけても高齢化等もあり、参加
者があるかどうか。希望があれば対応する。

[委員]

・ピンシャンとかは無くなったのか。老人クラブより少し若い世代だったと思う
が。みんな高齢化してやめたのかなと。

[館長]

・そのつながりが、沢地区の百笑クラブ、となっている。

[議長]

・そのような形で継承されていれば良いのかなと思う

[委員]

・「えころん」が好評だったようだが、どのような内容か。

[事務局]

・田端義夫とか舟木一夫など、懐かしい歌手の写真を見せ、「誰か」を答えてい
ただき、その方の歌をえころんの方が演奏し、あわせて歌うなど。

・曲も何曲か掲げて、参加者に選んでもらう。

[議長]

・チームオレンジは自主的に活動していると思うが、今後、公民館（生活応援セ
ンター）の関りはどのようになるのか。

[館長]

・砂子畑で月に1回、オレンジカフェを開催している。橋野地区ではカフェとい
う形にはなっていないが、集まってお茶を飲んだりしている。

・公民館としては、認知症に関する勉強会など、学びの場を提供していく。また、
砂子畑でカフェに使うソファが欲しいという事で、そちらの方はまちづくり
会議を通じて整備した。

・予算的な面でもバックアップしていきたい。

[委員]

・砂子畑はカラオケをやっている方が居て、それと一緒に開催しており、参加者
が集まっているため、継続できている。

[委員]

・それぞれの地域によって、はまる事業があると思う。

[委員]

・皆さんの地域では、敬老会シーズンとか、何か催し物をやっているのか。

[委員]

・(沢田) コロナ以降は弁当と記念品程度。こじんまりとなった。

[委員]

・橋野は沢地区だけだと思うが、敬老のつどいを行っている。

[議長]

・栗橋地域振興社(75歳以上1人1000円の補助)から敬老の支援がある。上栗林は小さいから敬老会を開催できない。その代わりに、花見の時に祝っている。なんとかそういう方法でつないでいる。

[委員]

・砂子畑地区も老人クラブのお花見会とあわせて祝う。

[委員]

・沢田地区では75歳以上では人数が少ないため、65歳まで年齢を下げて、有料として祝っている。

[委員]

・老人クラブは65歳からか。

[委員]

・老人クラブは60歳から(人数が少ないため年齢を下けている。)

[館長]

・橋野のある方から、今、栗林と橋野の交流はあるのか。運動会みたいなものを開催してはどうか、と言われた。運動会の後、焼肉会とか開催してはどうかと。

[議長]

・昔は市民運動会を開催し、栗林と橋野で交流していた。

[委員]

・町民運動会など、映像も残っている。

[議長]

・そういう古い映像を流せば喜ぶのでは。

[委員]

・敬老の集いでも町内会では神社の祭りとか、踊りを撮影して映したり、校歌を歌ったり、カラオケなどやっている。

[委員]

・昨年、沢地区に祝ってもらい楽しかった。

[委員]

・最後は橋野の校歌を歌った。

[館長]

・来年は学校統合の前なので、郷土芸能祭とか開催するのか、と考えたりもするが、令和9年度統合した時に、郷土芸能祭とかどうなるのか、と心配になった。

[議長]

(5. 地域や世代を超えた事業)

- ・マルシェは1回きりなのか

[館長]

・令和7年度は世界遺産登録10周年記念として実施したが、来年度は大々的な実施は難しいがラベンダー園があるので、こちらの方を活用して事業を計画していきたい。

[委員]

- ・今年はそば打ち体験を早い時期、1月6日に行ったようだが、直売所の運営が次の日からだった。
- ・出来れば直売所の人たちにも、のぞいてもらえればよかったと思うが、そばは早い時期に実施するのが適当なのか。

[館長]

・講師の日程の関係で年始早々に行ったが、そのような要望を講師に伝え、令和8年度は計画したいと思う。

[議長]

・次に7. 市民が主役の学び社会を目指した事業について、自主活動グループの傾向（活発化・衰退など）はどうか。

[館長]

・休止中のところもあるが、コロナの中では途絶えたが、それ以降は継続して、順調に活動している。

[川崎議長]

・100歳体操の効果ではないか。何かで集まっているところに、いろいろな事業を仕掛けていくとやりやすいと思う。体操以外の部分でも効果が大きい。

[館長]

- ・100歳体操は根付いていると思う。

[議長]

- ・新しい人が入ってこないのが課題。

[委員]

- ・ひまわりクラブは仕事もあり、夜やっていたが休止中となっている。

[議長]

・(自主活動グループに)9つ書いてあるが実質7つの団体が活動(「橋野札幌の会」と「橋野ひまわりクラブ」が休止)。リーダーになる方が大変。

※令和 8 年度釜石市立栗橋公民館運営計画案

[議長]

- ・次に運営計画案について
- ・ヨガと手話の 2 つ、計画から外したようだが。あと先ほど校長先生からも話があったが、野菜の栽培も計画から外してもいいのではないか。

[館長]

- ・はい。

[委員]

- ・自分では今年度公民館事業への関りが少なかった。例えば、史跡めぐりの研修会で地元、例えば栗林に銭座がある。もちろん青ノ木の世界遺産は大切。
- ・栗林の銭座は県の文化財でもあり史跡めぐりの研修会に入れてほしい。

[館長]

- ・令和 8 年度の事業について、世界遺産室の職員と栗橋地区の文化財を何か考えてほしい、という話をしていた。検討していく。

[委員]

- ・大きく世界遺産だけではなく、橋野のお寺、林宗寺も結構有名で、沢桜の奥の院、どんぐり広場でも（観光客等に）よく聞かれる。
- ・もっともっと綺麗なところもある。もう少し手を加えて（観光の）コースとしてもいいのではないかと。

[議長]

- ・ほかに何かないか。
- ・無いようなので、以上で協議を終了する。

[館長]

- ・まずは、AED の関係については教育委員会とも話しをしていく。
- ・本日皆様からいただいたご意見を参考に、今年度の活動に活かしていく。引き続きご協力をお願いしたい。
- ・これをもって、令和 7 年度第 2 回釜石市立栗橋公民館運営審議会を閉会する。